

市立長浜病院

地域がん診療連携拠点病院として、手術・放射線治療・化学療法など、専門的ながん医療を安全かつ効果的に提供できるよう職員一丸となつて医療水準の向上に尽力しています。

また、平成27年には診療支援棟を増設し、湖北地域で年々増加している心筋梗塞や大動脈解離、脳血管障害等の心血管系疾患に迅速に対応できるよう最新鋭の高度な医療機器・設備を集約しました。一刻を争う患者さんに対して、救急センターでの受け入れ、手術、集中治療室での全身管理や検査、治療まで、豊富な知識と経験を備えた専門医やメデイカルスタッフによる切れ目のない医療を実現しています。



平成29年に滋賀県下で最初のり

ウマチ膠原病の診療拠点をめざして、リウマチセンターを開設。専門医による薬物療法を中心とした治療を提供しています。今後もこの地域で最先端の医療が提供できるよう尽力するとともに、将来構想として、予防医療にも力を入れ、この病院が地域住民の健康づくりの拠点となり、健康なまち日本一にも資するよう取り組む進めたいと考えています。



神田 雄史 院長

今年3月に県から地域医療支援病院の承認を受け、地域の基幹病院としてかかりつけ医を支援し、地域医療の確保・充実を更に進めています。特に限られた医療資源を有効に活用するため、地域の医療・介護関連機関との連携・協力を一層強化したいとも考えています。今後、かかりつけ医をしっかりと支援するには医療体制の確保・充実に努めると共に、一部診療科については長浜赤十字病院との相互連携も必要であると考えています。

長浜市病院事業

長浜市立湖北病院

長浜市立湖北病院は大正4年に創立され、100年を超える歴史を持つ病院です。平成22年の市町合併により現在の長浜市立湖北病院となり、北部地域の医療を担っています。

当院は、急性期、回復期、慢性期を全て診る「ケアミックス病院」であるとともに、介護老人保健施設の併設(県内初)や地域包括支援センターの院内開設など、医療と介護の円滑な橋渡しもしています。



外来診療としては、市内北部地域唯一の透析施設として、約60人の透析患者の受け入れをはじめ、地域にない皮膚科や耳鼻科の診療等も行っていきます。

また、へき地医療拠点病院として、中河内、杉野、金居原の3診療所を巡回し、年間140日の診療を行っています。市立長浜病院へ消化器内科の医師の派遣を行っており、逆に循環器内科・婦人科の医師を受けるなど、互いに連携・協力することでより良い医療環境を提供しています。



納谷 佳男 院長

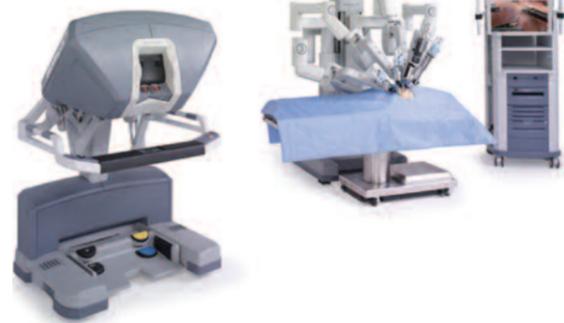
一つの大きな施設で地域を支える医療は、医師不足の問題等で終わりを迎え、地域の医療機関が連携し、住民の皆さんの健康を支える「地域包括ケアシステム」の構築が急務となっています。その中で、過疎地域を含む北部地域唯一の病院であり、介護老人保健施設を併設している当院は、地域包括ケアの要となる医療・介護の複合施設として、地域の皆さんに貢献したいと考えています。

長浜赤十字病院

全国の他の赤十字病院とともに、断らない救急、すぐ駆けつける災害医療を最大のモットーに「いざという時の医療」に取り組んでいます。

そのための日々の研鑽はもちろんですが、最近では、胃カメラや大腸カメラによるがんの治療や、小さな穴からわずかな出血で治療できる手術用ロボット「ダビンチ」の導入、思春期なども対象とした精神科の充実などを行っています。

このように高度で患者にやさしい医療を追求しており、特に小児科・



▲手術用ロボット「ダビンチ」

産科の分野では湖東地域などからも多くの患者を受け入れています。呼吸器内科、心臓外科、眼科など手薄な分野については、市立長浜病院を始め、地域の医療機関と連携して対応しています。今後とも県北部医療の最後の砦としてより一層、医療環境を充実させていきます。



楠井 隆 院長

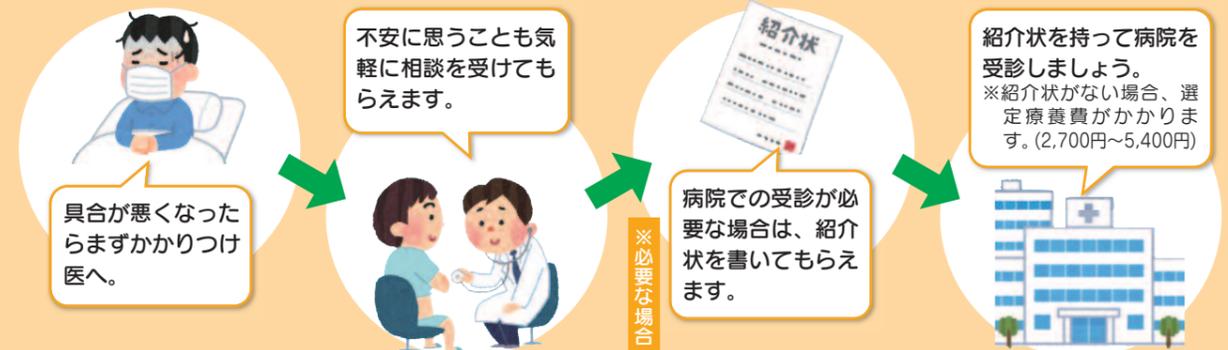
政府が提唱するように、総合病院一つですべてが完結する医療から、発達途上の小児や複数の病氣を持つことが多い高齢者などを主眼に一医療機関ではなく地域で支える「地域包括ケアシステム」の構築が急務となっています。

医師不足、高齢化、人口減少と課題が多い中ですが、2025年、2040年さらに先を見据えて、院内だけではなく、地域、県内と幅広く連携することによって、将来にわたり安心して住めるまちづくりの礎になりたいと思っています。

～湖北の医療を守るため今私たちにできること～

「まずはかかりつけ医で診察を!!」

湖北の(高度)急性期医療の質の高さは守られていますが、医師不足であることには変わりありません。これから先湖北の医療を守るために、一人ひとりがすぐにできる「かかりつけ医を持つ」を実践してみませんか。



湖北医師会 手操 忠善 会長
湖北地域は他の地域と比べ、在宅看取率が高いことが特徴です。これは各病院と湖北医師会の連携・協力がしっかりと取れていて、質の高い在宅医療を提供することができているためです。ぜひ、かかりつけ医を持つていただき、診療を受けるようにしてみてください。また、かかりつけ歯科医とかかりつけ薬局も持ちましょう。

また、休日に具合が悪くなった際、湖北医師会の医師たちが診療する「休日急患診療所」を利用することで、病院勤務医師の負担を軽くすることができます。ぜひご利用ください。



湖北医師会

手操 忠善 会長